## プログラム

発表15分質疑応答10分

## 第1日:5月23日(金)

9:25~9:30	第 12 回実行委員長	挨拶: 濱島義隆	(静岡県大薬)
9.43 - 9.30	为 14 四大门女只以		

9:30~11	E:10 座長:吉田昌裕(徳島 <sub>)</sub>	大院薬)	
1-01	スカンジウム触媒によるカスケード反応を利用した三環性骨格の構築法の関	開発	
	(千葉大院薬) 〇仲野駿一,角河和未,根本哲宏,濱田康正		2
1-02	ラジカル付加反応と[3,3]ーシグマトロピー転位が連動するドミノ型反応の関	<b> </b>	
	(神戸薬大) 〇伊藤勇太, 上田昌史, 宮田興子		4
1-03	環開裂型フリーデル・クラフツ反応を基軸としたビアリール・ビアリールス	メタンの新規を	合
	成法		
	(岐阜薬大) 〇浅井彰太,川尻貴大,門口泰也,佐治木弘尚,澤間善成		6
1-04	ベンズジイン等価体を用いる含フッ素多置換芳香族化合物合成法の開発		
	(阪大院薬) 井川貴詞, 〇増田茂明, 赤井周司		8
	* 休 憩 10分 *		
11:20~1	12:35 座長:阿部秀樹(東京	薬大生命)	
1-05	構造的等価性に着目した親水性クロモフォアの分子設計:8-アザクマリニバ	レメチル型光!	感
	受性保護基の開発		
	$(^{1}$ 静岡大院工 $,^{2}$ 東京医歯大生材研 $,^{3}$ 東邦大理 $)$ 〇鳴海哲夫 $^{1}$ ,高野 皓 $^{2}$ ,	野村 涉 <sup>2</sup> ,	
	古田寿昭 <sup>3</sup> ,玉村啓和 <sup>2</sup>	••••	10
1-06	青色光で制御可能な $N$ -nitrosoaniline 型 $NO$ ドナーを用いた血管弛緩制御		
	(名市大院薬)○家田直弥,堀田祐志,木村和哲,宮田直樹,中川秀彦	• • • • ]	12
1-07	ニトロベンゾオキサジアゾールを用いる蛍光 turn-ON 型アフィニティーライ	ベル化法の開発	発
	(¹東大分生研, ² ERATO, ³理研) ○山口卓男¹,²,³, 淺沼三和子²,³, 中西修一²,³	,斎藤洋平 <sup>2,3</sup> ,	,
	岡崎正晃 2.3, どど孝介 2.3, 袖岡幹子 2.3	• • • • •	14

13:35~	3:40 日本薬学会化学系薬学部会長 挨拶	佐々木茂貴 (九大院薬)
13:40~	3:45 第 40 回反応と合成の進歩シンポジウム 予告	山口雅彦 (東北大院薬)
13:45~1	5:00	左々木道子(広島大院医歯薬)
1-08	カチオン性水素結合を利用したカルバメートの効率的開裂	
1-08	アンタン性小系結合を利用したカルバメートの効率的開発 反応への応用	<b>以応とその方省族水电丁直換</b>
	(東大院薬)○黒内寛明,澄田明成,尾谷優子,大和田智彦	• • • • 16
1-09	イオウ単体を用いるロジウム触媒有機スルフィド合成反応	
	(東北大院薬) 有澤美枝子, ○市川拓哉, 山口雅彦	• • • 18
1-10	遠隔位認識型アシル化触媒を用いた σ-対称鎖上ジオールの	不斉非対称化
	(京大化研)○繁田 尭,吉田圭佑,古田 巧,川端猛夫	• • • • 20
	* 休 憩 10分 *	
15:10~	6:25 座長: 第	森本浩之 (九大院薬)
1-11	二量化アプローチによるマリノマイシンAの効率的不斉全台	ì成
	(長崎大医歯薬) 〇西丸達也,近藤維志,竹下公人,高橋圭	全介,石原 淳,畑山 範
		• • • • 22
1-12	(±)-リアノドールの全合成	
	(東大院薬)○小清水正樹,長友優典,枡田健吾,田渕俊樹,	占部大介, 井上将行
		• • • • 24
1-13	Leuconoxine 及び類縁化合物の全合成	
	(東北大院薬)○梅原厚志, 植田浩史, 徳山英利	• • • • 26
	* 休 憩 10分 *	
16:35~1	7:50 座長: 均	家野千尋(京大院薬)
1-14	金触媒によるアジドイナミドの連続環化反応を用いたイント	ドロキノリン骨格の一挙構築
	(京大院薬) 〇時水勇輔,大石真也,藤井信孝,大野浩章	• • • • 28
1-15	キラル $\alpha$ -ニトリルカルバニオンから $N$ -シリルケテンイミン	の軸性キラリティへの不斉転
	写の試み	
	(広島大院医歯薬)○安藤雅史,佐々木道子,武田 敬	• • • • 30
1-16	効率的縮環シクロブタノール合成と多環芳香族炭化水素への	)応用
	(京大院薬) 〇山岡庸介,藤村 駿,永本祐樹,岸田明日美	美,山田健一,竹本佳司,
	高須清誠	• • • • 32

第	2	日	:	5	月	24	日	(土)
---	---	---	---	---	---	----	---	-----

第 2 E	引:5 月 24 日(土)	
9:25~10	0:40	座長:井川貴詞(阪大院薬)
2-01	白金触媒による直接的アリル位アミノ化反応を活用成 (九大院薬)○張 明,渡辺賢司,塚本真史,澁谷	
2-02	(九人院架) ○版 切,優辺貞可,塚平真丈,雌谷 Hedyotol A の全合成	元二,林平佰之,八喝孝心 · · 30
2-02	(静岡県大薬)○河辺佑介,石川 諒,吉田直人,	赤尾祐介,吉田篤史,稲井 誠
	浅川倫宏,濱島義隆,菅 敏幸	•••• 38
2-03	キラルホルミウム触媒を用いる多置換ヒドロカルバ	
2 03	(千葉大院薬)○森川貴裕,原田真至,西田篤司	•••• 40
		.0
	* 休 憩 10分 *	<b>k</b>
10:50~1	2:05	座長:梅澤直樹(名市大院薬)
2-04	レピスチンの全合成	
	(名大院創薬) 〇北林祐介,横島 聡,福山 透	• • • • 42
2-05	セリン選択的酸化的ペプチド鎖切断法	
	(東大院薬)○関 陽平,田辺佳奈,佐々木大輔,	
2.06	が担互終よりな、八八四点如るデュトゥ明が正体	•••• 44
2-06	新規血漿カリクレイン阻害剤のプロセス開発研究	京·杜· 美· 在 四
	(アステラス製薬(株)合成技術研)○平澤 俊,	
		•••• 46
	* 昼 食 70分 *	<b>k</b>
13:15~1	3:20 第 13 回次世代シンポジウム 予告	杉浦正晴(熊本大院生命科学)
13:20~1	4:35	座長:岡野健太郎(東北大院薬)
2-07	神経栄養因子様物質ジアジフェニンの形式合成	

(徳島文理大薬) ○原田研一, 今井顕子, 久保美和, 福山愛保

• • • • 48

	アンタゴニストの創製
	$(^1$ 大阪薬大, $^2$ 阪大医保健, $^3$ 大医大)〇米山弘樹 $^1$ ,曲田拓司 $^1$ ,上村健司 $^1$ ,澤田鉱一 $^2$ ,
	宇佐美吉英 <sup>1</sup> ,波多野浩太 <sup>2</sup> ,山本浩一 <sup>2</sup> ,山本大助 <sup>3</sup> ,大和谷厚 <sup>2</sup> ,春沢信哉 <sup>1</sup>
	•••• 52
	* 休 憩 10分 *
1445	
14:45~	
2-10	マクロライド骨格をテンプレートとした新規キチナーゼ阻害剤の創製
	( <sup>1</sup> 北里大生命研, <sup>2</sup> 北里大院感染制御, <sup>3</sup> 徳島大疾患酵素研, <sup>4</sup> 北里大薬, <sup>5</sup> 新潟大農)
	○菅原章公 1.2, 真板宣夫 3, 廣瀬友靖 1.2, 合田浩明 4, 木村紗穂莉 2, 斉藤佳史 2,
	中野隼人 <sup>2</sup> ,山本 剛 <sup>1,2</sup> ,渡邉剛志 <sup>5</sup> ,塩見和朗 <sup>1,2</sup> ,中野洋文 <sup>1</sup> ,広野修一 <sup>4</sup> ,谷口寿章 <sup>3</sup> ,
	大村智 <sup>1,2</sup> , 砂塚敏明 <sup>1,2</sup> • • • • 54
2-11	パラジウム-DHTP 触媒による位置選択的クロスカップリングを活用する多置換ベンゾフ
	ラン類およびインドール類のワンポット合成
	(静岡県大薬)○山口深雪,勝又はるか,鈴木康平,秋山知代,眞鍋 敬 ・・・・ 5€
2-12	(E)-Trimethyl(3,3,3-trifluoroprop-1-enyl)silane の有機合成への利用
	(摂南大薬)○表 雅章,池田朱里,樽井 敦,佐藤和之,安藤 章 ・・・・ 58
2-13	多置換ベンゾチアゾール類の簡便合成を指向したアライン類の新規利用法の開発
	(¹東京医歯大生材研, ²JNC 石油化学) ○吉田 優¹, 矢野貴久¹, 松下武司², 細谷孝充¹
	• • • • 60
16:25~	~16:30  優秀発表賞受賞者発表、閉会挨拶

強力な水素結合供与能を有する有機分子触媒を利用した  $\alpha,\beta$ -不飽和アミド類の不斉分子

S-アルキル-N-アルキルイソチオウレアの効率的合成法とヒト/ラット選択的ヒスタミン H<sub>3</sub>

内オキサマイケル付加反応の開発とその応用

(京大院薬)○小林祐輔,谷口大和,倉本竜太,竹本佳司

2-08

2-09